

S50 Passol

1977年 / 市販車

「パッソル」誕生の背景には、女性をターゲットとしたモーターサイクル需要の拡大という市場の期待感があった。既成技術にこだわることなく、実際に顧客のニーズはどこにあるのかを分析した結果、女性がスカートでも足を揃えて乗れる「やさしさ」というキーワードであり、これが「ステップスルー」とう新しいスタイルを生み出した。デザインを優先してエンジンや駆動系周りもカバードタイプにし、衣服の汚れなどの心配がなく、乗る人に清潔感とともにやさしく親しみやすさを感じさせた。

さらに、自転車と同様の前後輪ハンドブレーキ操作やオートマチック機構による運転のやさしさ、一発でかかるキック機構、キャストホイールの採用なども大きな特長とした。

加えて、680mm と低いシート高や全長1,515mm、

重量45kg と小型・軽量なところも女性にとって

扱いやすいポイントとなった。また1リッター当たり

走行距離が75km と経済性を実現し、“ソフトバイク”

という新しいジャンルを定着させた。

イメージキャラクターに女優の八千草薫を起用し、

「やさしいから好きです」のキャッチフレーズとともに、

テレビコマーシャルをはじめとした一大キャンペーン、

展示試乗会の開催、並行して「ヤマハ原付免許教室」を

開催するなど、販売促進活動にも積極的に取り組み、

ファミリーバイク市場でのシェアを大きく拡大させた。



COMMUNICATION
P L A Z A